

第 179 話〈肉牛日本一〉の要約と参考資料

第 179 話〈肉牛日本一〉の要約

土呂久で和牛を育てる 7 農家は牛の競り市の夜、公民館でバーベキューをしながら技術を高めるための情報を交換してきました。こうした研さんと牛への愛情が実を結んで、昨年 11 月、佐藤孝輔さんの牛が全国和牛能力共進会で日本一に選ばれて総理大臣表彰されました。

第 179 話〈肉牛日本一〉の参考資料

179-1 土呂久集落の世帯数と人口の推移

I 明治以降の土呂久の人口の推移

明治 4 (1871) 年 3 月「五人組帳面惣寄控 岩戸村」より

土路久

鉄砲 4 挺 男牛 1 疋 女牛 20 疋 男馬 2 疋 女馬 43 疋

岩戸 (五カ村、土路久、永野内、上村、東岸寺、野方野) 合

鉄砲 82 兆 男牛 36 疋 女牛 89 疋 男馬 16 疋 女馬 512 疋

土呂久組

4 組

一、竈 27 軒 人数 187 人 内 男 106 人 女 81 人

外二壺軒 弁指家内 7 人 内 男 5 人 女 2 人

ノ 28 軒 人数 194 人 内 男 111 人 女 83 人

岩戸 惣竈数 319 軒 (内 社人 1 軒 寺 1 軒 出張所 1 軒 右雇 1 軒 弁指 6 軒

小箱 (?) 1 軒 百姓 307 軒)

(署名者は、岩戸村庄屋土持輝太郎と弁指 6 人。弁指の中に佐藤雅市の名前がある)

平部嶺南「日向地誌」より

字地 土呂久 立宿ノ北十町許ニアリ人家三十三戸

池田牧然「岩戸村土呂久放牧場及土呂久亜硫酸鉍山ヲ見テ」より (1925 年)

土呂久ハ一帯ニ草カ豊富テアルカラ明治 33, 34 年頃ハ戸数 33 戸ニ対シ馬ガ 85, 86 頭、牛ガ 62, 63 頭モ居タノガ、今ハ戸数 44 戸ニ対シ馬ガ僅ニ 32 頭、牛ガ 55 頭ニ減ッタ

高千穂町資料

昭和 10 年 10 月 1 日現在土呂久居住人口

	世帯数	男	女	計
鉾山を除く土呂久	68	210	186	396
鉾山	74	234	124	358
計	142	444	310	754

昭和 22 年 3 月 1 日現在（年齢別はわかるが、男女別は不明）

	世帯数	男	女	計
鉾山を除く土呂久	59	—	—	404
鉾山	13	—	—	61
計	72	—	—	465

尚、昭和 19 年の事業所統計の書類に土呂久鉾山だけ抜けていてありませんので、従業員数がわかりませんが、下記のような事がわかりました。

昭和 21 年 10 月頃の従業員数 32 人

昭和 22 年 10 月頃の従業員数 11 人

参考になればと思い書いときます。

土呂久鉾毒被害実態調査質問事項

1. 高千穂町の概要

(イ) 人口、行政区域及び面積

参考統計表より

土呂久の人口の推移（国勢調査による）

年 次	人 口
昭和 3 5	5 9 5 人
昭和 4 0	5 0 8 人
昭和 4 5	2 5 8 人

土呂久の人口・世帯数推移（住民登録人口 6 月 1 5 日現在）

年	世帯数	人口
昭和 4 5 年	5 8	2 8 8 人
昭和 4 6 年	5 5	2 6 9 人
昭和 4 7 年	5 4	2 4 8 人
昭和 4 8 年	5 6	2 5 0 人

昭和49年	58	244人
-------	----	------

宮崎県「土呂久地区の鉱害にかかわる社会医学的調査成績」(1972年)

土呂久 55世帯 269名 (男128、女141)

芥川仁氏による調査 (1977年1月)

土呂久 51世帯 224人 (男115、女109)

高千穂町資料

昭和後期の人口

高千穂町役場 (1984年10月1日現在) 調べ

土呂久 畑中組 14世帯 65人 (男37、女28)

南組 17世帯 61人 (男30、女31)

惣見組 14世帯 72人 (男38、女34)

計 45世帯 198人 (男105人、女93人)

平成初期の人口

高千穂町役場調べ (1992年10月1日現在)

土呂久 167人 (男87人、女80人)

平成中期の人口

高千穂町役場調べ (2007年10月1日現在)

土呂久 40世帯 127人 (男69、女58)

令和初期の人口

高千穂町役場調べ (2020年3月1日現在)

土呂久 36世帯 75人 (男43、女32)

高千穂町役場調べ (2023年2月1日現在)

土呂久 33世帯 63人 (男37、女26)

以上を表にすると

年	世帯数 (*は戸数)	人口	出典
1609 (慶長14)	20*	—	岩戸竿帳

1732 (享保 17)	26*	—	御検地帳
1871 (明治 4)	28*	194	五人組帳面惣寄控
1884 (明治 17)	33*	—	日向地誌
1890 (明治 23)	35*	—	和合会盟約公衆
1925 (大正 14)	44*	—	池田牧然報告記
1935 (昭和 10)	142 鉾山を除く 68 鉾山 74	754 鉾山を除く 396 鉾山 358	高千穂町役場資料
1947 (昭和 22)	72 鉾山を除く 59 鉾山 13	465 鉾山を除く 404 鉾山 61	高千穂町役場資料
1960 (昭和 35)	—	595	高千穂町役場資料
1965 (昭和 40)	—	508	高千穂町役場資料
1971 (昭和 46)	55	269	高千穂町役場資料
1977 (昭和 52)	51	214	芥川仁調査
1984 (昭和 59)	45	198	高千穂町役場
1992 (平成 4)	—	167	高千穂町役場
2007 (平成 19)	40	127	高千穂町役場
2020 (令和 2)	36	75	高千穂町役場
2023 (令和 5)	33	63	高千穂町役場

*1925, 1935, 1947, 1960, 1965 年は土呂久鉾山操業中

179-2 畜産の歴史

(※第38話の参考資料と重複)

1) 土呂久の畜産の歴史

池田牧然「岩戸村土呂久放牧場及土呂久亜硫酸鉾山ヲ見テ」より抜粋

岩戸村大字岩戸字土呂久、標高一六四四米古祖母山ノ中腹ニ有リ。東北ハ大字山裏ニ、西ハ上野村ニ境シ、西南ハ大字岩戸一帯ニ面スル高台デアル。

旧藩時代岩戸庄ノ牛馬ヲ混牧シタガ、明治初年頃カラ牛ノ放牧ニ改メ、壯幼牛ヲ毎年百余頭宛放牧シタモノデアル。然ルニ明治中年頃、土呂久部落有放牧場トシテ、其ノ面積約二百町歩ノ主要ナル区域ニ土柵ヲ、森林界ニ木柵ヲ繞ラシ、稍々完備シタ放牧場トナシ、七折、高千穂、上野方面ノ畜牛ヲモ収容スル事ニシタガ、其成績ガ誠ニ良好デ、五月初旬ニ入場セシメテ十月下旬ニ退場セシムル時ハ、殆ンド入場当時ノ影ヲ止メヌ位良ク成長肥満シテ、一般畜主ノ満足ヲ得タモノデアルガ、同地方ハ一般ニ鉾山地帯デ、偶々鉾山師トナリ一攫千金ヲ夢見ルモノガアルヤラデ、一時鉾山熱ノ為ニ畜産熱ヲ冷却セシメ、家畜ノ数ヲ次第ニ減ジ、大正二、三年頃カラ放牧休止ノ止ムヲ得ナイ事ニ立チ至ツタノデ、現在モ休場シテ居ル。其レヲ今回、二、三有志者ノ希望デ、再ビ開設シ様ト目下計画中ノモ

ノデアル。何レ本年カラ再興ノ運ビニナロウト思フ。

土呂久ハ四、五年前迄ハ農家ノミデアツタガ、今ハ鉱山業ガ三、四軒アル。兎ニ角、明治三十年頃カラ大正元年頃迄デ、西臼杵郡ノ土呂久馬（外録馬）ト云ヘバ大シタ声望ノ有ツタモノデ、實際ニ良馬ガ居タ。其レハ土呂久ノ先覚者ガ「アラブ雑種」ノ種牡馬桔梗野号ヲ郡ヨリ貰ヒ受ケ、之デ一般馬匹ノ体型ヲ整理シ、其レニ明治四十年頃「トロツター雑種」ノ種牡馬ヲ入レ、幅員アル短肢小格ノ馬ヲ作ル事ニ努メタカラデアル。ソレデ県内外ノ商人ハ、土呂久馬ハ強クテ後デ体格ガ出来テ使役一等ト評判シタモノデアル。然ルニ其ノ後、馬匹改良方針ナド理屈ヲ云フ時代ニナツテ、馬ノ体型ガ一変シタ。即チ、理屈ガ当業者ヲ迷ハセタ訳デアル。偉大ナ体格ノ馬ト交換シタリ、又、薄平ナ馬ヲ買込シテ、次第次第ニ土呂久馬ノ名声モ何処ニ納マツタカ判ラヌ様ニナツタ。又、其ノ原因ニ今一ツアル。其レハ、今迄ノ産馬家ガ明治四十二年頃カラ牛ニ乗り代ヘタモノガ過半出来タカラデアル。

土呂久ハ一帯ニ草ガ豊富デアルカラ、明治三十四、五年頃ハ戸数三十三戸ニ対シ、馬ガ八十五、六頭、牛ガ六十二、三頭モ居タノガ、今ハ戸数四十四戸ニ対シ、馬ガ僅カニ三十二頭、牛ガ五十五頭ニ減ツタ。乍而事實ニ於テ、牛ハ減ツテ居ナイ。寧ロ増加ニ努メテ居ル。

近来亜硫酸鉍ガ開山シテ斃牛馬ガ多イ為メニ、牛ハ他部落ニ転地セシメタリ、預托シテ居ルモノガ、恐ラクー、二十頭アルト云フ事デアル。其レカラ見テ、確ニ馬ハ牛ニ代ツテ居ル。其ノ動機ハ明治四十二、三年頃、全国的ニ流行シタブラウンスウキス種牡牛ガ村有ニ来テカラ、岩戸ノ牛ガ突飛ニ高く売レタノデ、誰モ彼モ管理ノ仕良イ牛ニ乗り代ヘタノデアルガ、馬ヲ圧倒スル位カヲ入レタ結果、牛ハ現在中々立派ナノガ居ル。毎年ノ生産犢ハ立派デ品評会デモ優勝シ、糶市ノ価格モ郡ノ一位ヲ占ムルモノガ多イ。候補種牡牛ヤ候補種牡牛ハ、大概此部落生産ノモノカ、又ハ、其系統ニ連ルモノガ多イト云テモ宜イ位デアル。

何様土呂久ハ、畜産ノ歴史モ古イガ、畜産地ト指ヲ屈シテモ辱カシカラザルモノデアル。

（句読点は川原）

2) 銀行からの借り入れによる馬の改良

農工銀行借入金契約証

（表紙）

明治四十四年八月二日

農工銀行借入金契約証

佐藤十三郎外拾九名

（本文）

農工銀行借入金契約書

第壹条 末尾記載之貳拾名ハ連帯ヲ以テ農工銀行ヨリ金壹千五百円ヲ貳拾ヶ年元利

返済ヲ以テ借受シ種牡馬購入費ニ投ジタリ

第貳条 農工銀行書入レタハ担保ハ左記ノ割合ニテ提出シタリ

(佐藤十三郎はじめ 15 名ノ最高 11 筆から 1 筆までの担保ノ記載がある)

第参条 担保品ヲ提出セザル者ハ組合宛ニ保証人二名以上連帯附キノ年賦金借用
(不明) 制裁ノ元利金都度無相違返済スル事

第四条 右各自負債額ヲ右ニ示ス

(金参百六拾円から金拾七円五拾銭まで 20 人ノ負債額が示してある)

第五条 右之金利息支払期ハ毎年一月十日七月十日トス 但シ三日以前ニ世話人ニ
納込スベシ

第六条 農工銀行借入金ハ明治四十四年六月ヨリ同四十六年一月三十一日迄元金据
置キノノ利息ハ年九分五厘トス年賦償還ハ四十六年二月ヨリ向フ貳拾年トシ
其期間内元利支払期ハ前項ノ五条ノ如シ

第七条 右指定ノ期ニ返済ナサズ日歩等ノ制裁ヲ都度受ケ組合ノ名誉ヲ毀損スル者
ハ負債金全部ヲ一時請求ヲ受クルモ決シテ異議ヲ申立ツル事ヲ得ズ

第八条 組合員ニシテ右農工銀行ノ金員支払法ヲ他ニ移転スル時ハ組合会協議ノ上
可否ヲ決定ス

右之通り契約ヲ決シ無相違為メ左ニ連名連署シ依而如件

明治四十四年八月二日

岩戸村大字岩戸字土呂久

契約者

(佐藤三蔵ほか 19 名が連署している。名前の上に 6 口から 1 口ノ契約口数が書
いてある)

本契約証参通ヲ製シ各組世話人壹通ヲ保存ス

明治四十四年八月二日

追加規約第四条負債額ニハ相違アレドモ實際ノ種牡馬購入費ハ一株分金拾七円五拾
銭ニシテ其他ノ増額ハ個人ノ負債タルモノナリ依而茲ニ追加契約ヲ制定スルモノナ
リ

3) 牛馬ノ改良でよい成績がみられないと記載した和合会議事録

大正 2 年 2 月 25 日 和合会議事録

5. 牛馬ノ改良ハ目下大ヒニ必要ノ事ニ属シ、当区ニ於テモ漸時改良ニ努メツツアルモ、
未ダ良成績ヲ見ル非ハザルハ大ニ遺憾トス所ナリ。此際諸君ノ良案ヲ待チ一般改良
ヲ計画セントス。各位ノ意見ヲ問フ。

179-3 亜ヒ酸製造による畜産被害

川原一之著「口伝 垂砦焼き谷」より

その17 墓所柿

「長石」の馬が、とんと裸になった。毛が脱け落ちて、厚い皮ばっかしになったんじゃ。死にはせざったが、「どうして、こげんなるどか」「やっぱし垂砦の関係じゃろか」。それまで何頭もの仔を産んだ立派な母馬だっただけに、変な病気にかかったもんじゃと不安がつる。同じころ「樋の口」の牛の食欲がのうなって、飼料を食わんごつなつた。栄養が悪うして肉が落ち、つやをなくした毛が点々と脱けて、あちこちにはげがでくる。(略)

土呂久ではそんなころ「奈戸の上」の谷に草場を開いて、牛馬の墓所場にしちよつた。「樋の口」から半里はあつたろうや。「脇の谷」までの下り道は、道幅も広うしてそれほど難儀はせんかつたが、そこからの上り坂がひと苦労じゃつた。急な山道でな、背の低い者が先に立ち、高い者が後に続いた。道は2尺幅しかねえ。さかづりの牛がまん中を行き、人は道端(みちくろ)の雑草を踏み分けち、ときには岩につまずいてよろよろしながら登つていった。疲れてひと休みしたときな、谷をくだる風が汗を吹き飛ばして心地よかつたの。

その19 転地

土呂久は昔から、畜産に熱心な部落での。「外禄馬といえは使役に一番」。そういうて、馬喰の間でもなかなかの評判やつた。もとはといえは岩戸に、牛馬の改良に力を入れた土持妙市ちゅう獣医がおつた。明治29年に西臼杵郡畜産組合を通じて購入した種馬アルゼリー2代雑種の桔梗号で、岩戸地区の馬の改良に乗り出した。土呂久ん衆はのちにこれしてもらい受け、さらに明治40年ごろ Trotter 種の種馬も買入れて、足の短いがっちりした小型馬の育成に努めたものよ。

明治から大正にかけち、馬から牛へ乗り替えるのが西臼杵の農家の風潮じゃつた。馬の発情が春先に限らるるのに、牛はいつでんいい。牛は10カ月で仔を産むが、馬だと12カ月かかる。堆肥や農耕でも、牛の方が馬より使いもんになつた。馬から牛へちゅう傾向は、土呂久でも同じように現れちの。明治35年ごろ85、6頭おつた馬が半分以下に減つて、そん代り62、3頭だつた牛がしだいに増加してきた。じゃが垂ヒ焼きが始まつて、奇病で死んだり近くの部落へ預けたりして、そんなころ土呂久には60頭くらいの牛しかおらざつた。

その21 隠蔽

小又谷を半里も登つたところに、土呂久平ちゅう原野がある。標高は1000メートル近く、垂砦の煙もここまでは流れてこざつた。「樋の口」の助さんが大正15年、ここに10町歩の牧場を開いての。濠をめぐらし木の柵で囲うち、土呂久の牛馬を放牧した。煙の心配のねえ奥山に放牧場をつくるのが、部落ん衆に残された最後の自衛策じゃつた。

179-4 土呂久放牧場

池田牧然報告記より

- 1) 旧藩時代 岩戸庄ノ牛馬ヲ混牧
- 2) 明治初期から 牛の放牧（壮幼牛を毎年 100 余頭）
- 3) 明治中期 土呂久部落有の牧場 200 町歩
- 4) 大正 2-3 年頃 鉾山熱のため放牧休止
- 5) 大正 14 年か 15 年 再び開設の計画

宮崎県の畜産 牧場一覧より

土呂久牧場 大正 15 年 4 月 50 町 牛 30 頭
所有者 佐藤 助

佐藤春喜さんの話 「大正 15 年に助さんが 10 町歩の牧場をつくった。煙害で下におかれん」

179-5 畜産の伝統の復活へ

毎日新聞連載（1990 年 11 月、土呂久訴訟最高裁和解後の連載、筆者金沢滋）

「土呂久を歩く（5） 若い息吹」

稲刈りに精を出す村人たちの姿を眺めていると、バイクに乗った県農業大学校 2 年、佐藤和明さん（20）がニカッを笑って通り過ぎて行った。（略）刈干切りから家に帰った和明さんは、牛たちに飼料を食べさせながら、2 年前のことを振り返った。進路を決める際、普通の大学に進むかどうか悩みに悩んだ。農業に将来はあるのか。厳しい現状を考えると、悩みは当然と言えば当然である。「トネばあちゃんは、僕が幼いころから公害のひどさや、先祖から伝わる田や畑を守るために裁判しよったことなんかを、いっつも教えてくれた。だから、長男でもあるし、家を飛び出すことは考えなかった」最後は自分自身の考えで土呂久に残る道を選んだ。

農業大学校では、肉牛の肥育を学ぶ。「卒業すれば、牛の人工授精の免許が取れるんです。肉牛をもっともっと増やして“土呂久牛”を復活させたい。牛肉の輸入自由化になったって、勝てる自信はありますよ」。こう言って子牛の頭をなでた。「土呂久牛が有名になれば、出ていく人も少なくなるでしょう」と語る和明さん。土呂久牛の復活と山里の復興。若い頭の中では、ふるさとにかける夢は無限の広がりを見せる。

朝日新聞連載（2012 年 12 月 24 日、土呂久鉾山閉山から 50 年企画、筆者坂本進）

「土呂久一閉山から半世紀（5） 語り継ぐ願いと憂い」

土呂久の集落には今、40 世帯が住む。住民の 4 割が 65 歳以上の高齢者だ。戦後の最盛期には 300 人近くが鉾山で働いていたが、閉山を機に、地区外や県外に多くの人に移った。畜産農家の佐藤孝輔さん（32）は「人が多くいた方がいいけど、仕事がない」と話す。3 児の父で、一番下の子は今年 3 月に生まれた。地区に幼い子どもがいるのは、他にもう 1 世帯だけ。「この子たちが大きくなるころ、地区はなくなってしまうかもしれない。そ

したら、公害にことも忘れられるだろう」

179-6 土呂久の消防団員とバーベキュー、カラオケ交流

2017年6月24日川原メモ

岡部友樹君（中央大卒後、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究所2年目）を案内し、佐藤幸利さん方で宿泊（民泊の可能性テスト）した。夜、幸利さん、息子の和明さん、消防団仲間の佐藤隆彦さん、佐藤孝輔さんとバーベキュー・カラオケを楽しんだ。

ジビエ料理の夕食 ①イノシシ肉の味噌鍋、②シカ肉のしゃぶ鍋、③ビール、焼酎。

牛舎で出産直前の母牛サクラを写す監視カメラのモニターに、破水・子牛の足が白く見えた。和明「行って来る」と、モニターのスイッチを切って牛舎へ向かう。和明の母・生子さんがモニターのスイッチを入れると、幸利・和明が生まれて来る牛の足を引き出している。母牛が子牛の羊水（膜）をなめている。やがて子牛は立ち上がり、乳を飲み始めた。子牛誕生の Happy な瞬間に立ち会った。

「畑中の下」の佐藤隆彦（農協勤務）と「中鶴」の佐藤孝輔（11年前に鹿川から養子で来た。牛を最大170頭飼っていたが、いまは130頭くらい）が、雨で消防団訓練が中止になったので、食べ物をもって和明を訪ねてきた。

幸利自慢のカラオケセットで歌が始まる。幸利は海の唄が好きだ。孝輔は、目が輝き、やる気あり、自信を持っている。全身を使ってパフォーマンスをまじえて歌う。隆彦は、どこか自信なさげに座って飲みながら歌う。

和明がMRTのドキュメント（上野登の息子が父の遺言に従って、遺骨をバングラデシュに運んで砒素センターの植木の根に埋める）のビデオを見せる。最初は盛り上がっていたが、だんだん飽きてきて、解散する雰囲気になる。

風呂にはいり、トネさんの仏壇に参り、客間に岡部と休む。

土呂久の中核世代と初めて交わる機会となった。元気な世代を知った。

179-7 土呂久の畜産農家に表彰状（2019年9月）

表彰状

土呂久 肉用牛生産振興会殿

一、団体の部

優勝

令和元年九月五日

高千穂地区農業協同組合

代表理事組合長 佐藤友則

佐藤元生さんの話（2019年11月7日電話で聴取）

子牛の競り市は年に5回ある。西臼杵郡内の6地区（高千穂町内4か所、五ヶ瀬町と日之影町は1か所ずつ）で予選会をやって、各地区から8頭ずつ選ばれて、1週間後に開かれる郡の大会にすすむ。地区の予選会で、私の子牛が優等賞1席、和明君の子牛が4席だった。公民館単位で生産振興会をつくっているが、土呂久の点数がもっとも高かった。優勝の賞状をもらった。土呂久は畜産農家の戸数が少ないので、団体表彰を受ける機会は少ない。初めてじゃないかな。

179-8 宮崎牛「おいしさ日本一」

2022年9月3日 夕刊デイリー1面

「西臼杵勢、大活躍 / 6区に郡内の種牛4頭 / 7区高千穂町の佐藤さん」

第12回全国和牛能力共進会（全共）の県代表牛を決める検査会は2日、小林市の小林地域家畜市場であり、6区（総合評価群）種牛の部で西臼杵の4頭が、7区（脂肪の質評価群）で高千穂町、佐藤孝輔さん（41）の尚栄1頭が10月6日開幕の全共鹿児島大会出場を決めた。（略）

JA高千穂によると、西臼杵が6区で全共に出場するのは初。7区については過去にJA高千穂が出場しているものの、同町肥育農家が選ばれたのは今回が初めてだという。

同3面

「日本一へ、気持ちを引き締め / 注目度高い7区 / 代表の佐藤さん」

「残っていたのは有名な肥育農家ばかりで、不安だった」。だが、脂肪の質を競う7区の代表を勝ち取り、佐藤さんは「選ばれて良かった」と涙で赤くなった目を細め、喜びを語った。今大会まで午前5時からの餌やりやこまめな見回りを行ない、体調管理を徹底した。「常に牛を見て、ちょっとした異変にも気付いてあげられるよう注意した」。神経をとがらせた世話が、結果につながった。7区は今回の全共で初めて設けられたため、「注目度が高く、今後の宮崎牛、高千穂牛のブランド確立につながる大会になる」と自覚する。だからこそ「日本一になれるよう、残りの2カ月を過ごしたい」と気持ちを引き締めた。

2022年10月4日 朝日新聞宮崎版

『脂肪』初Vへ試行錯誤 / 牛舎・エサにこだわり」

6日に鹿児島県で開幕する全国和牛能力共進会（全共）では、牛肉の食味につながる脂肪の質を評価する審査区が新設された。和牛はこれまで、脂肪が血管のように張り巡らされた「霜降り」をめざす改良が重ねられてきた。時代の変わり目に、県代表の農家は試行錯誤して調整を進めている。

肉牛の部に新設された7区の「脂肪の質評価群」の審査では、脂肪に含まれる割合が高

いと、口溶けや風味が良くなるという一価不飽和脂肪酸（MUFA）の予測値を評価する。全共では、3大会前から MUFA の割合が高い牛に「脂肪の質賞」を贈っていたが、今回は審査区として独立させた。肉量などもみるが、一定水準以上のサシ（脂肪交雑）は同等とみなし、脂肪の質を重視する。

<肉汁や風味『質』が影響>

なぜ脂肪の質なのか。独立行政法人家畜改良センターの入江正和理事長「脂肪交雑が飛躍的に高まり、食味の低下や血統の偏りによる遺伝的多様性減少の問題が出てきた。次の改良目標として注目されたのが脂肪の質です」と説明する。入江理事長によると、脂肪に含まれるオレイン酸などの含有率が高いと、口溶けが良く、多汁性が増し風味にも影響する。一方で、飼料の肉質への影響は複雑で、まだ分かっていないことが多い。

「脂肪交雑は、取引価格を大きく左右するため、いまだに重視されているのが現状ですが、脂肪の質が認知されれば、質の良いものを流通業者や消費者が選ぶようになり、生産にも変化が出てくると思います」と予測している。

2022年10月12日 宮崎日日新聞1面

「宮崎牛おいしさ日本一 / 総理大臣賞4大会連続」

5年に1度、和牛改良の成果を競う全国和牛能力共進会（全共）鹿児島大会の最終日は10日、鹿児島県霧島市の特設会場であり、本県は7区（脂肪の質評価群）で「肉牛の部」の最高賞・内閣総理大臣賞に選ばれた。県勢の同賞獲得は史上初の4大会連続。今回は和牛の新たなおいしさを打ち出す7区で最高の栄誉に輝き、宮崎牛のさらなる飛躍につながる事が期待される。

今大会新設の同区は、同じ種雄牛から生まれた去勢肥育牛3頭1セットの枝肉を審査。サシの量だけでなく、うま味や口溶けに影響するとされるオレイン酸含有率など、脂の質にも着目して順位を付けた。多様化するニーズに対応した和牛の新たな価値観を示す区として注目区だった。県勢は佐藤孝輔さん（41）＝高千穂町岩戸、馬場牧場＝馬場幸成代表、小林市南西方、神田譲市さん（59）＝えびの市末永＝が育てた、県有種雄牛「第5安栄（やすさかえ）」の子牛3頭を出品。9日に同区で優等首席（1位）を獲得していた。

（略）岸田文雄首相から賞状を授与された7区代表の佐藤さんは「初出品の重圧もあったが、最高賞を獲得し、宮崎に貢献できてうれしい。これからも宮崎牛のブランド確立のために力を尽くす」と喜びを語った。

2022年10月12日 宮崎日日新聞

「見せた牛飼いの誇り / 新たな基準 一丸で対応」

（略）脂の質は、牛肉のおいしさに関わるとされるオレイン酸などの一価不飽和脂肪酸（MUFA）の含有率の予測値などで審査。3人の予測値の平均は63.4%と、同区全体の平均（57.6%）を大きく上回った。7区で予想値が最高だった佐藤孝輔さんは「つらいこと

も多かったが、前回宮城大会へ出場できず、誰にも負けたくないという思いが、徹底した飼養管理につながった」と受賞パレードでは涙。「宮崎の子どもたちが今回の結果を契機に、牛飼いに興味を持ってくれたらうれしい」と将来を見据えていた。

2022年10月12日宮崎日日新聞 論評 編集局長 森耕一郎

『和牛新時代』リード」

おいしい肉とは何だろうか。黒毛和牛の代名詞である肉の柔らかさだけではない。脂肪に含まれる風味や赤身のうま味を求める人もいる。肉食の価値観もまた時代の流れとともに多様化している。

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会のスローガンは「和合新時代」。細分化するニーズに応えるために新設した脂肪の質を評価する分野でチーム宮崎は今回、格別な称号を得た。おいしさ日本一というお墨付きは宮崎牛に新しい価値を与えることになる。さらに飛躍するきっかけにもなると思うと県民として誇らしく、うれしい。

1991年の輸入自由化以来、日本の和牛農家が脂肪混雑（サシ）にこだわってきた霜降り肉は、すき焼きやステーキにして口に含むと脂肪分が溶けてまろやかになる。その味わいは多くの美食家を魅了してきた。しかし近年、消費者ニーズは健康志向も加わって霜降り肉から赤身の肉にも分散しているのが実情なのだ。今回の大会は各地のブランド和牛が霜降り一辺倒から転換する大きな節目となるだろう。

この大会で頂点に立った宮崎は新しい肉づくりもリードする存在になった。

2022年10月12日西日本新聞（古川剛光記者）

「鉦害の歴史、過疎越えて / 肥育の魅力 次代へ」

全国和牛能力共進会の「肉牛の部」で最高賞の「内閣総理大臣賞」に輝いた宮崎県高千穂町の佐藤孝輔さん（41）は、かつて鉦害被害があった土呂久地区で約150頭の和牛を肥育している。「空気も水もきれいで、牛づくりに最適だ」。過疎化・高齢化が進む中山間地で、子どもたちの目標になれるよう牛づくりに励んでいる。

隣接する日之影町出身、農協指導員だった佐藤さん。実家が肥育農家を営む妻浩美さん（39）との結婚を機に25歳で畜産の世界に飛び込んだ。目指すのは「ストレスを与えない牛づくり」。車の騒音などに慣れさせるため牛舎に常にオルゴールの音を流したり、小まめに見回ったりして、牛の体調管理に気を配る。

町や県内の畜産仲間の助言などを受けて肥育に取り組んだ結果、念願だった全共への初出場がなかった。肉牛の部に新設された「脂肪の質」を評価する区分に愛牛「尚栄（なおさかえ）」を出品し、首席を獲得。「牛と、支えてくれた多くの仲間たちに感謝したい」と表情を緩めた。審査後の競りでは、肉牛の部に出品された166頭の平均単価の約12倍に当たる枝肉1キロ当たり10万円の最高値で落札された。

土呂久は標高400～800メートルの谷間の小さな集落で、旧土呂久鉦山では戦前戦後、

多くの慢性ヒ素中毒患者を出した。人口は土呂久公害の告発があった 1971 年の 4 分の 1 を下回る 33 世帯 64 人にまで減ったが、自然豊かな環境が戻り、佐藤さんら数世帯が牛を育てている。

小中学生 3 人の父でもある佐藤さんは、環境学習や校外学習で牛舎を見学に来る児童・生徒や学生らに鉍害を克服した土呂久の歴史や牛づくりの魅力を伝えながら、こう願う。「『農業っていいな、畜産っていいな』と少しでも興味を持ってもらえればうれしい。土呂久でしっかり稼いで、その流れを子どもたちにつないでいきたい」

179-10 岸田首相に宮崎牛を贈呈

2023 年 2 月 16 日 宮崎放送

『全国和牛能力共進会』で内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛 岸田総理に贈呈」

去年 10 月に開催された「全国和牛能力共進会」で最高賞の内閣総理大臣賞に輝いた宮崎牛が、16 日、岸田総理大臣に贈られました。16 日は、「全国和牛能力共進会」で内閣総理大臣賞を受賞した肥育農家の 1 人、佐藤孝輔さんや JA 宮崎経済連の坂下会長らが、総理官邸を訪問。岸田総理に、内閣総理大臣賞を受賞した宮崎牛のサーロイン 1 キロを贈りました。そして、岸田総理は、宮崎牛の「すき焼き」を試食しました。

その感想は...

(岸田総理)「やわらかいですね。噛まなくてもとろけるような。日本一の皆さんの努力のたまものをきょうは頂かせていただきました。ありがとうございます。4 回連続内閣総理大臣賞本当に大変な努力の成果だとおもいます」

(肥育農家 佐藤孝輔さん)「総理も口にされたので十分伝わった。食べてもらうのが一番、総理も分かっていただけだとおもう」

4 大会連続で最高賞の内閣総理大臣賞に輝いた宮崎牛。さらなるブランド力の向上が期待されます。

179-11 土呂久インタビュー佐藤孝輔さん (2021 年 2 月 24 日、聞き手川原) より

— 牛舎建てる前は何頭くらいいたんですか。

孝輔 80 頭から 100 頭くらいはいたんです。180 頭くらいに殖やして。それが一番増えた時かな。

— 環境教育を公害という狭いところに絞らない方がいいなということで、(孝輔さんのところに) 連れて来るようになったんですけど、そういう意味じゃ、どうですか、宮崎大学生が最初に来たりするのを受け入れて。

孝輔 まず県が持ってきたときに、わたしはすごい大反対したんですよ。館長ところに行って、文句言って。今またフィートアップしてしまうと、子どもたちが学校行って、

お前んとこテレビ見たぞー、お前んとこやべえんじゃないかとかになったら問題じゃなって、現に、昔は土呂久の人たちは差別じゃないけど、いじめやらを受けてたって話を聞いちゃったき、館長とこに反対を申し出たっちゃけど。今は、やっぱり今川原さんが言わたごつ、今はこの自然の中で頑張っちょるっちゃーっていうのを見せるのにも、まあいいのかなあと。伝え方っちゃうのは学校の先生どん間違った方向で言わなければ大丈夫かなーと思ってしゅしゅ。ま最初はしゅしゅじゃったんですよ。じゃけど、この流れが来てなんか地区の人たちも公害について前向きちゃうか、来たときはちょっと地区の人たちも隠そうじゃないけど、あえて喋らんでも、この公害がこんげあってこんぎやってて敢えて喋らんでもっていうのりじゃったのが、あんどきは大変じゃったとよー、まそんげいじめやらもあったとよーて飲み方の席やらで言いながら、ま前向きにちゃうかちゃんと正面で捉えて話してる感じが今地区の人たちにあって、かえってこういう流れになって良かったっちゃなーて、今は思いますよね。

— 学生はじめ、あの一ここ数年いろんな人が来るようになったんで、僕やっぱりこの流れをもう少し地域の活性化というか。土呂久の元気づけに活用できるようになるといいなと思うんですけどね。

孝輔 すごくいい流れがここまで来たと思うんですよ、私も。これを続けたいーて思ってるんですけど、私だけじゃなくて、地域の人達も、前向きになったなあとあって。今だと思うんですよ、もうちょっとてこ入れしてやれば、なんか地域が一つになって来るから、土呂久地区の公民館挙げてこういうことしましょーっていう流れになるのが一番いいなと。ちょっといまやっぱり、私も相談相手っちゃうのがもう、限られてるのよね。上の和明さん、それと館長ぐらいしか意見を言える場っちゃうのがなかなかないから、中心でやってる人たちだけで話してて、一周り上のおじいちゃんおばちゃんまで巻き込めてないなって実感してて。

— 僕はやっぱ一番必要だなと思うのは、土呂久に住んでる人らが、例えば、今はこんな花が綺麗ですよとかね、インターネットでもって発信する。それがあるともって違うんじゃないかなと。やっぱり土呂久発、それが十数年前に土呂久発のがあったんだよ。

孝輔 嫁の妹ですね。嫁いでオシカタにいったけど。

— ずうっと前から、慎市さんも 1 人でやってこられた感があるから。結局は地域を丸められなくて。

孝輔 おつきいなあと。まあ地域を挙げてっていう形になるには。私たちが館長やらと動いてると、慎市さんがやってるのは別個になってしまうので、川原さんらがいつても、その別個のやつと一緒に、こうしてくれるのはありがたいんだけど。やっぱ、地域をあげてっていう雰囲気欲しいですよ。

— なんか可能性が、ちょっとずつ見えて来たという気がしますね。あのテレビで、

NHK、UMKで放送されたりして、それ観ての感想はどうでした？

孝輔 私が思ってる以上に、周りの反響が大きくて、ああいいとこじゃねえっていうのと、観たよ観たよって、ほんとに皆観てるんだなあって思って、いいこつ言うねって言われて、嬉しい。ハハハハハハ。